

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 01土木総務費

事務事業番号 08010101

事業名		土木車両整備事業		担当部署	都市建設部 維持課		
根拠法令		道路法					
令和2年度決算額		6,354	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金	5,900	千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	454	千円				
事業費（総計）		7,412	千円	総合評価	A		
決算額		6,354	千円				
人件費		1,058	千円				
事業の目的		1 道路維持作業車（平成3年度登録）の老朽化に伴う更新です。 2 道路パトロール車（平成17年度登録）の老朽化に伴う更新です。					
事業の内容		1 道路維持作業車の更新（クレーン付セルフ使用 6tクラス） 道路維持作業車の購入については、北海道市町村備荒資金組合の車両譲渡事業を活用していますので、初年度については、車両保険料のみ計上しています。 ※ 車両譲渡代金 総額 14,100,011円 【償還期間：令和3年9月～令和9年3月】 2 道路パトロール車の更新（ランドクルーザープラド相当）					
SDGs17の目標							
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	
		土木車両の更新	台	2	1	-	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●				土木車両の更新は、市民対応や道路の簡易補修、除雪作業時のパトロールなど市民生活を守るために必要であり、市民の安全・安心な生活に大きく寄与しているため、「4」としました。	
効率性			●			老朽化した土木車両の更新を図ることで、維持管理費の抑制及び車両の安全性が向上することができたため、「3」としました。	
公平性			●			道路パトロール車を更新することにより、パトロール車の台数確保をすることができ、市民への公平性が保たれているため、「3」としました。	
将来性		●				市民の安全・安心な生活を守るためには、土木車両整備は必要不可欠であり、今後も継続して実施していく必要があるため、「4」としました。	
総合評価		A		評価項目のとおりおおむね目的に適った事業を展開できています。 今後も、市所有の土木車両の整備を引き続き行い、安定的な道路維持が遂行され、市民の安全・安心な生活を守るよう整備を進めてまいります。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 02建築指導費

事務事業番号 08010201

事業名		マイホーム建設促進特例融資事業		担当部署	都市建設部 総務課																						
根拠法令																											
令和2年度決算額		14,900	千円	項目評価		総合評価 <b>A</b>																					
財源内訳	国道支出金		千円																								
	地方債		千円																								
	その他	14,900	千円																								
	一般財源		千円																								
事業費（総計）		14,971	千円																								
決算額		14,900	千円																								
人件費		71	千円																								
事業の目的		<p>本事業は、平成11年から13年にかけて、国の景気浮揚策と連動し、苫小牧市経済活性化の一環として、市民の持ち家建設の促進を図るため開始した融資事業です。</p> <p>借入者はこの制度を利用することで、市場よりも低い金利で金融機関から融資を受けることが可能となります。</p> <p>金融機関は自己資金により融資を行うこととなりますが、市が金融機関に対して貸付残高の一部に相当する資金を預託することにより、金融機関の負担軽減を図っています。</p>																									
事業の内容		<p>融資の受付は既に終了していますが、毎年度金融機関に対する預託金の調整を行っています。</p> <p>内容としては、年度当初に、貸付残額に協調倍率（市の預託金と金融機関の資金の割合）を乗じた金額を金融機関に預託し、毎月の返済額に応じて、預託金を金融機関から市へ戻入させます。年度末には、一度預託金の全額を市に返還させます。</p> <p>また、年度当初の協調倍率は、前年度1月末の長期プライムレートにより決定し、7月時点で年度当初から比べて0.3%以上のレートの増減があった場合は、10月に協調倍率の変更を行うものとして、金融機関と契約を結んでいます。</p> <p>令和2年度3月末に報告を受けた時点の各金融機関の貸付状況等は以下のとおりです。</p>																									
SDGs17の目標																											
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>金融機関</th> <th>件数（件）</th> <th>貸付残額（千円）</th> <th>協調倍率（市：金融機関）</th> <th>預託額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>苫小牧信用金庫 ほか7金融機関</td> <td>258</td> <td>921,910</td> <td>1：60.3</td> <td>14,900</td> </tr> </tbody> </table>				金融機関	件数（件）	貸付残額（千円）	協調倍率（市：金融機関）	預託額（千円）	苫小牧信用金庫 ほか7金融機関	258	921,910	1：60.3	14,900	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>預託総額（＝決算額）</td> <td>千円</td> <td>14,900</td> <td>39,200</td> <td>49,400</td> </tr> </tbody> </table>		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	預託総額（＝決算額）	千円	14,900	39,200	49,400
金融機関	件数（件）	貸付残額（千円）	協調倍率（市：金融機関）	預託額（千円）																							
苫小牧信用金庫 ほか7金融機関	258	921,910	1：60.3	14,900																							
指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度																							
預託総額（＝決算額）	千円	14,900	39,200	49,400																							
項目評価		高 → 低				評価の理由																					
		4	3	2	1																						
有効性		●						受付終了時点で約1,200名がこの制度を利用しており、本事業により市民の持ち家建設の促進が図られました。また、事業による金融機関の負担軽減のため預託金の提供が必要であることから、「4」としました。																			
効率性			●					この事業により合計で130億円を超える融資が行われており、これに対する金融機関への預託金額は最大で70億円となりました。ただし、預託金は最終的に全額市に返還されるため、費用対効果が大きい事業となっています。																			
公平性				●				マイホーム建設促進特例融資要綱により、融資対象や条件などを詳細に設定しており、統一された基準のもと公平に融資を実施しています。																			
将来性		●				一方、預託に係る事務に要する期間が長期に渡ることから「3」としました。																					
総合評価		<b>A</b>				融資を実行した金融機関の負担軽減のため、今後も継続して預託金の提供を行う必要があります。																					
特記事項		当初、貸付金の償還期限は最大25年間でしたが、金融円滑法の施行に伴い11件の条件変更を行い、最大で令和19年まで事業が継続されます。																									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 02建築指導費

事務事業番号 08010202

事業名		住宅耐震・リフォーム支援事業		担当部署	都市建設部 建築指導課			
根拠法令								
令和2年度決算額		172	千円	項目評価		総合評価 <b>A</b>		
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	172	千円					
事業費（総計）		243	千円					
決算額		172	千円					
人件費		71	千円					
事業の目的		この事業は、平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用して金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を利子補給金として補助することを目的とします。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>平成21年度から平成23年度に実施した事業で、住宅の改良に必要な資金を金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を苫小牧市が利子補給金として補助する事業です。（融資限度額650万円（耐震改修を行わない場合500万円）で金融機関金利のうち1.5%を上限に市が負担します。）</p>						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R2年度	R1年度	H30年度
		住宅耐震・リフォーム支援事業の利子補給件数			件	51	75	85
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用した市民に対して利子補給を行うために必要な事業であることから、「4」としました。		
効率性			●			この事業では、3年間で約5億円のリフォーム工事が実施され、これに対する市の利子負担見込額は約2,800万円と費用対効果が大きい事業となっていますが、市の利子補給期間が長期に渡ることから、「3」としました。		
公平性				●		平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用した市民のみが対象となっていることから、「2」としました。		
将来性		●				市の利子補給が終了する予定である令和8年度まで事業を継続する必要があることから、「4」としました。		
総合評価		<b>A</b>				平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用した市民に対して、利子補給を行うために今後も必要な事業です。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 02建築指導費

事務事業番号 08010203

事業名		住宅リフォーム促進事業		担当部署	都市建設部 建築指導課						
根拠法令											
令和2年度決算額		10,914	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	10,914	千円								
事業費（総計）		11,619	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	総合評価		A				
総合評価											
A											
決算額		10,914	千円								
人件費		705	千円								
事業の目的		住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民が快適な住生活を営むための住宅リフォームを支援することを目的とし、木造住宅耐震改修等補助金交付事業は、木造住宅の耐震改修等の費用の負担を軽減し、耐震化を促進することを目的としています。									
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>   <ol style="list-style-type: none"> <li>住宅耐震・リフォーム支援事業 住宅の改良に必要な資金を金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を苫小牧市が利子補給金として補助します。（融資限度額650万円（耐震改修を行わない場合500万円）で金融機関金利のうち1.5%を上限に市が負担します。）</li> <li>木造住宅耐震改修等補助金交付事業 耐震診断や耐震改修工事の負担を軽減し、住宅の耐震化を促進するための費用の一部を補助金として助成します。（耐震診断又は耐震設計を行う場合は10万円を上限に、耐震改修を行う場合は60万円を上限に市が補助します。）</li> </ol>									
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R2年度	R1年度	H30年度			
		住宅耐震・リフォーム支援事業の利用件数			件	91	85	71			
		木造住宅耐震改修等補助金交付事業の利用件数			件	0	0	0			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性			●						住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民に浸透した事業であり、令和2年度も予定する融資工事額に達していますが、木造住宅耐震改修等補助金交付事業の利用がなかったことから、「3」としました。		
効率性			●						令和2年度の事業では、約2億円のリフォーム工事が実施され、これに対する市の利子負担見込額は約1,200万円と費用対効果が大きい事業となっていますが、市の利子補給期間が長期に渡ることから、「3」としました。		
公平性			●						住宅は、市民生活の基盤であるとともに、都市や街並みの重要な構成要素であり、住宅を耐震化又はリフォームすることで、市街地の安全性を確保し、良好な住環境を形成することができることから、「3」としました。		
将来性		●				住宅を耐震化又はリフォームすることにより、安全で快適に住み続けられる住宅を整備することは、良質なストック形成と流通促進に資するものであることから、「4」としました。					
総合評価		A				住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民に浸透した事業であり、地域経済への波及効果も大きいことから、今後も事業を実施していきたいと考えています。 木造住宅耐震改修等補助金交付事業は、住宅の耐震改修等の促進を図るために必要な事業であることから、今後も事業を実施していきたいと考えています。					
特記事項											



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費 項 02道路橋りょう費 目 01道路橋りょう維持費 事務事業番号 08020101

事業名		雪氷対策費		担当部署	都市建設部 維持課			
根拠法令								
令和2年度決算額		331,471	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	331,471	千円					
事業費（総計）		351,425	千円					
決算額		331,471	千円					
人件費		19,954	千円					
事業の目的		降雪や路面凍結等に伴う渋滞、スリップ、歩行困難などの交通障害を解消し、安全で快適な交通機能を確認するため、車道及び歩道の除雪や凍結防止剤散布を行うものです。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>凍結防止剤等の購入 車道や歩道の凍結路面对策として、凍結防止剤やすべり止め砂の購入をしました。</li> <li>除雪作業業務 積雪量、路面状況、雪質、気象予報などの情報収集を行い、積雪量10cm以上を目安として、除雪作業を行いました。</li> <li>除雪車運行管理システム保守 除雪車運行管理システムを活用し、除雪作業状況の把握をし、市民からの除雪作業状況に関する問い合わせに対し、速やかに情報提供が行えたほか、作業が遅れている地域への除雪協力の要請を行い、作業時間を短縮しました。</li> </ol>						
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度		
		除雪作業	回	12	16	15		
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				市民の冬の暮らしを守るため、除雪作業は欠かすことがないため、「4」としました。		
効率性			●			除雪車運行管理システムを活用し、作業が遅れている地域への除雪車の追加配置を行うなど、効率的な除雪作業を行い、作業時間の短縮を図っているため、「3」としました。		
公平性			●			道路パトロールにより路面状況の把握のほか、気象予報などの情報収集により除雪作業を行っていることから、「3」としました。		
将来性		●				除雪作業は冬期の安全で快適な交通機能を確認するため、重要であることから、「4」としました。		
総合評価		<b>A</b>		評価項目のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できていますが、より効果的な事業とするため、除雪機械の台数確保や、配置の見直しなどを実施してまいりたいと考えています。				
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020201

事業名		社会資本整備総合交付金事業（道路整備事業）		担当部署	都市建設部 道路建設課、維持課		
根拠法令		道路法					
令和2年度決算額	552,060	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>
財源内訳	国道支出金	327,186	千円				
	地方債	189,300	千円				
	その他		千円				
	一般財源	35,574	千円				
事業費（総計）	588,077	千円					
決算額	552,060	千円					
人件費	36,017	千円					
事業の目的	<p>快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を高齢者の増加など、社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら促進するほか、老朽化が進む道路・橋梁などの健全度を把握しながら、効率的・計画的な改築・修繕を行い、安全・安心な道路交通網を確保します。</p>						
事業の内容	<p>1 橋梁長寿命化 事後対応型の管理から予防保全型の管理へ転換することで、架け替えなどにかかるライフサイクルコストの縮減を図りました。</p> <p>2 舗装道路の改築・修繕（幹線道路） 歩道のバリアフリー化をはじめ、安全・安心な道路交通網の整備をするほか、老朽化した舗装の修繕を実施しました。</p>						
SDGs17の目標	 						
実施結果（活動指標）	指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度		
	橋梁長寿命化・耐震補強	橋	2	2	3		
	舗装道路の改築・修繕	路線（km）	5路線（1.5km）	2路線（0.6km）	3路線（1.6km）		
項目評価	高 → 低	評価の理由					
	4 3 2 1						
有効性	●					老朽化が進む道路・橋梁を計画的に改築・修繕を行うことで、安全・安心な道路交通網が確保できることから、「4」としました。	
効率性		●				より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから、「3」としました。	
公平性	●					全ての利用者にとって、安全・安心な道路交通網が確保できることから、「4」としました。	
将来性	●					本事業は、市民の安全・安心に直結する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があることから、「4」としました。	
総合評価	<b>A</b>		項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できています。本事業は、市民の安全・安心な道路交通網を確保する手段として非常に有効であることから、今後も引続き、計画的かつ効率的に取組を実施してまいります。				
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020202

事業名		単独道路舗装事業		担当部署	都市建設部 道路建設課						
根拠法令		道路法、苫小牧市道路の構造の技術的基準に関する条例									
令和2年度決算額		517,230	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債	463,700	千円								
	その他		千円								
	一般財源	53,530	千円								
事業費（総計）		566,646	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;"><b>A</b></td> </tr> </table>				総合評価		<b>A</b>	
総合評価											
<b>A</b>											
決算額		517,230	千円								
人件費		49,416	千円								
事業の目的		<p>快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を高齢者の増加など、社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら、主に生活道路における未舗装道路を対象に、安全・安心な道路交通網を確保します。</p>									
事業の内容		<p>1 未舗装道路の舗装整備 路面状態が悪く、雨水処理されていない未舗装道路を整備しました。</p>									
SDGs17の目標		<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう      11 住み続けられるまちづくりを</p>									
		【整備前】		【整備後】							
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度				
		未舗装道路の整備		路線(km)	36路線(3.7km)	34路線(4.0km)	33路線(4.2km)				
項目評価		高 → 低		評価の理由							
		4	3	2	1						
有効性		●				未舗装道路を計画的に整備することにより、安全・安心な道路交通網が確保できることから、「4」としました。					
効率性			●			より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから、「3」としました。					
公平性			●			まちかどミーティングなどの地域要望をもとに、現地確認など整備路線の検討を十分に行っていることから、「3」としました。					
将来性		●				本事業は、市民の安全・安心に直結する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があることから、「4」としました。					
総合評価		<b>A</b>		<p>項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できています。本事業は、まちかどミーティングなど地域住民から特に要望の多い事業であるため、社会情勢の変化や利用ニーズに配慮しながら、計画的かつ効率的に整備を進めてまいります。</p>							
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費 項 02道路橋りょう費 目 02道路新設改良費 事務事業番号 08020203

事業名		単独道路新設改良費		担当部署	都市建設部 道路建設課、維持課																																	
根拠法令		道路法																																				
令和2年度決算額		598,370	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">項目評価</th> <td rowspan="7"> </td> <td rowspan="7"> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> <td rowspan="2">A</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>国道支出金</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>437,200</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>161,170</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（総計）</td> <td>615,295</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">決算額</td> <td>598,370</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費</td> <td>16,925</td> <td>千円</td> </tr> </table>	項目評価			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> <td rowspan="2">A</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	総合評価		A			財源内訳	国道支出金		千円	地方債	437,200	千円	その他		千円	一般財源	161,170	千円	事業費（総計）		615,295	千円	決算額		598,370	千円	人件費		16,925	千円
項目評価			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> <td rowspan="2">A</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>		総合評価				A																													
総合評価					A																																	
財源内訳	国道支出金					千円																																
	地方債				437,200	千円																																
	その他					千円																																
	一般財源			161,170	千円																																	
事業費（総計）		615,295	千円																																			
決算額		598,370	千円																																			
人件費		16,925	千円																																			
事業の目的		社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮し、老朽化が進む道路などの健全度を把握しながら、改築・修繕を行い安全・安心な交通道路網を確保します。																																				
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>   <ol style="list-style-type: none"> <li>1 区画線標示業務 : 磨耗・剥離した区画線の再標示</li> <li>2 アスファルト舗装補修業務 : 路面に生じた穴などの損傷をパッチングにより部分的に補修</li> <li>3 道路清掃業務 : 人力による歩道や中央分離帯等の清掃</li> <li>4 舗装道路改修工事 : 舗装、縁石などの老朽化した道路施設を全面的に改修</li> <li>5 舗装道路修繕工事 : 老朽化した舗装の表層部を全面的に修繕</li> <li>6 道路施設改良工事 : 雨水樹の設置、縁石等道路付属物の補修・改良</li> <li>7 街路灯LED化改修工事 : 水銀灯やナトリウム灯の街路灯をLED照明に転換</li> <li>8 測量調査費 : 地質調査、舗装構造評価</li> <li>9 道路附属物修繕工事 : 自立式道路照明灯の更新</li> <li>10 道路事業等調査業務 : 交通量調査</li> </ol>																																				
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度																																
		老朽化した舗装道路の改修	km	8	9	9																																
項目評価		高 → 低		評価の理由																																		
		4	3	2	1																																	
有効性			●			劣化状況に応じた効果的な補修方法や対策を実施したことで、市民にとって安全で安心な道路交通網を確保することが出来ていることから、「3」としました。																																
効率性			●			市民の声や町内会・各団体などの要望を元に、道路の損傷規模に応じて、より少ない費用で必要な効果が得られる補修方法を検討して事業展開していることから、「3」としました。																																
公平性			●			改築修繕に伴う路線の選定は、市民の声や町内会・各団体などの要望などを元に道路パトロールを行い、老朽化等への対策の要否や重要度を判断するなど十分な検討を行っていることから、「3」としました。																																
将来性			●			市内の道路整備や街路灯のLED化は即効性のある効果が期待できる事業となっており、本事業を継続して実施することが重要であることから、「3」としました。																																
総合評価		A		項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できており、本事業を進めることが市民サービスに直結することから、効率的かつ効果的な事業展開を押し進めていきたいと考えています。																																		
特記事項																																						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020204

事業名		特定防衛施設周辺調整交付金事業		担当部署	都市建設部 維持課		
根拠法令		道路法					
令和2年度決算額		15,950	千円	項目評価 			
財源内訳	国道支出金	15,000	千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	950	千円				
事業費（総計）		19,476	千円	総合評価 <b>A</b>			
決算額		15,950	千円				
人件費		3,526	千円				
事業の目的		快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら促進します。					
事業の内容		1 防雪柵の設置 視程障害や吹きだまりが発生し、通行が困難になる道路に防雪柵を設置しました。					
SDGs17の目標		 					
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度
		防雪柵の設置		km	0.1	0.1	0.1
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性			●			防雪柵の設置は、主目的である冬期の視程障害や吹きだまりを防止する手段として非常に有効であり、設置区間は安全な車両の通行を確保することが出来ていることから、「3」としました。	
効率性			●			防雪柵設置は、冬期の視程障害の規模に応じて必要な機能を確保することはもとより、経済的な整備方法を検討することで、将来にわたってその効果が得られることから、「3」としました。	
公平性			●			防雪柵設置は、町内会などの要望をもとに現地パトロールを実施し、現地確認など十分な路線の検討を行っていることから、「3」としました。	
将来性			●			防雪柵設置区間は冬期の市民の交通安全に直結するもので、必要区間に継続的に実施していくことが重要であることから、「3」としました。	
総合評価		<b>A</b>		項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できています。事業を進めることは安心して安全な道路交通網を確保する手段として非常に有効であることから、今後も引き続き市民サービスに直結する取組を実施してまいりたいと考えています。			
特記事項							



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費 項 02道路橋りょう費 目 02道路新設改良費 事務事業番号 08020205

事業名		道路ストック総点検事業		担当部署	都市建設部 維持課																				
根拠法令		道路法																							
令和2年度決算額		11,143	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>																	
財源内訳	国道支出金	5,949	千円																						
	地方債		千円																						
	その他		千円																						
	一般財源	5,194	千円																						
事業費（総計）		14,669	千円																						
決算額		11,143	千円																						
人件費		3,526	千円																						
事業の目的		活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を確保するため、老朽化が進む社会資本ストックの損傷状態を把握します。																							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>1 道路附属物点検 道路照明の点検を行い、損傷状態を把握します。</p> <p>2 道路照明施設補修 道路照明の点検結果に伴い、早急な対応が必要と判断された場合に補修を行います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>電気開口部断面欠損</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>支柱断面欠損</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>支柱基部断面欠損</p> </div> </div>																							
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路附属物点検</td> <td>基</td> <td>207</td> <td>172</td> <td>353</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	道路附属物点検	基	207	172	353										
指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度																					
道路附属物点検	基	207	172	353																					
項目評価		高 → 低				評価の理由																			
		4	3	2	1																				
有効性			●			道路照明は老朽化が進んでおり、倒壊による第三者被害防止のため点検を実施して、損傷状態を把握し計画的な修繕を行うための有効な診断結果が得られたことから、「3」としました。																			
効率性			●			道路照明点検により、得られた診断結果をもとに、効率的な維持管理を実施していることから、「3」としました。																			
公平性			●			道路照明点検箇所については、設置年度の古いものや老朽化が進む海岸線沿いなど地域特性を考慮して実施していることから、「3」としました。																			
将来性			●			道路照明点検だけでは効果が見えにくい事業ではありますが、維持管理修繕の優先順を決めるのにあたり重要な役割を果たしており、継続的に実施することが重要であると考えていることから、「3」としました。																			
総合評価		<b>A</b>				項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業が展開できており、より効率的で効果的な道路照明の更新・修繕の実施に繋がる事業を実施してまいりたいと考えています。																			
特記事項																									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020206

事業名		単独道路交通安全対策事業		担当部署	都市建設部 道路建設課							
根拠法令		道路法										
令和2年度決算額		44,979	千円	項目評価								
財源内訳	国道支出金		千円									
	地方債	40,400	千円									
	その他		千円									
	一般財源	4,579	千円									
事業費（総計）		50,420	千円									
決算額		44,979	千円									
人件費		5,441	千円									
事業の目的		平成26年度から平成30年度において小学校周辺道路における交通安全対策を実施し、効果検証から対策は有効的な取組であったが、主として学校周辺のための整備であったことから、今後は対象範囲を小学校指定通学路全体へ拡大し、さらなる交通安全対策の取組を強化していく必要があります。										
事業の内容		<p>1 小学校指定通学路の交通安全対策 車両速度抑制対策や防護柵設置などを実施しました。</p> <p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>【整備前】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【整備後】</p> </div> </div>										
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度					
		小学校指定通学路の交通安全対策		校	3	-	3					
項目評価		高 → 低				評価の理由						
		4	3	2	1							
		有効性	●							車両速度抑制対策を始めとする交通安全対策を実施することにより、通学路の安全・安心な通行が確保できることから、「4」としました。		
		効率性		●						より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから、「3」としました。		
		公平性	●							通学路を通行する児童のみならず、沿線住民など歩行者全体の安全・安心な通行が確保できることから、「4」としました。		
将来性	●				本事業は、歩行者の安全・安心な通行を確保する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があることから、「4」としました。							
総合評価		A				項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できています。本事業は、通学路の交通安全対策として非常に有効であることから、今後も引続き、計画的かつ効率的に取組を実施してまいります。						
特記事項												

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020207

事業名		再編関連訓練移転等交付金事業（道路整備事業）		担当部署	都市建設部 道路建設課				
根拠法令		道路法							
令和2年度決算額	60,469	千円	項目評価				総合評価	A	
財源内訳	国道支出金	40,500	千円						
	地方債	13,500	千円						
	その他		千円						
	一般財源	6,469	千円						
事業費（総計）	67,521	千円							
決算額	60,469	千円							
人件費	7,052	千円							
事業の目的	<p>快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を高齢者の増加など、社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら促進します。</p>								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>1 舗装道路の改築 老朽化による舗装のひび割れや段差解消など、道路の機能回復をはじめとした、舗装の改築を実施しました。</p> <p>【整備前】  【整備後】 </p>								
実施結果 (活動指標)	指標名				単位	R2年度	R1年度	H30年度	
	舗装道路の改築				路線(km)	1路線(0.1km)	1路線(0.1km)	-	
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●				機能回復をはじめとする舗装道路の改築を行うことにより、安全・安心な道路交通網が確保できることから、「4」としました。			
	効率性		●			より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから、「3」としました。			
	公平性			●		まちかどミーティングなどの地域要望をもとに、現地確認など整備路線の検討を十分に行っていることから、「3」としました。			
将来性	●				本事業は、市民の安全・安心に直結する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があることから、「4」としました。				
総合評価	A				項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できています。本事業は、まちかどミーティングなど地域住民から特に要望の多い事業であるため、社会情勢の変化や利用ニーズに配慮しながら、計画的かつ効率的に整備を進めてまいります。				
特記事項									


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020208

事業名		苫小牧中央IC開通記念式典事業		担当部署	都市建設部 道路建設課						
根拠法令		道路法									
令和2年度決算額		2,877	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他	2,873	千円								
	一般財源	4	千円								
事業費（総計）		7,613	千円	総合評価	A						
決算額		2,877	千円								
人件費		4,736	千円								
事業の目的		快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない高速道路ネットワークの整備促進に向けて、追加ICの必要性や課題等の共有を図ります。									
事業の内容		SDGs17の目標  				 					
		1 苫小牧中央IC開通記念式典 (1) 開催日：令和2年12月13日 (2) 場所：市民会館・苫小牧中央IC (3) 内容：開通記念式・現地通り初め (4) 参加者：約140人									
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R2年度	R1年度	H30年度			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							苫小牧中央ICの事業主体である北海道および東日本高速道路株式会社と連携しながら準備を進め、開通記念式典を盛大に開催できたことや、広報とまこまいやメディア等を通じ広く市民周知が図られたことから、「4」としました。		
効率性			●						新型コロナウイルス感染対策を徹底しながら、必要最低限の経費で開通記念式典を開催できたことから、「3」としました。		
公平性			●						新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開通記念式典の参加者については、これまで苫小牧中央IC設置の実現に従事していただいた関係機関をはじめ、ご要望をいただいている関係団体等、最小限の方々をお招きしました。		
将来性		●				苫小牧中央ICの開通により、観光産業の促進、物流効率化のみならず、救急搬送、災害時の緊急避難や物資輸送のルート確保など「命の道」としての役割が期待されることから、「4」としました。					
総合評価		A				苫小牧中央ICの開通は本市にとって長年の悲願であり、新型コロナウイルス感染対策を徹底しながら開通記念式典を盛大に開催でき、市民周知に大きく寄与したことから、事業の目的に適ったと評価しました。					
特記事項											



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 03河川費

目 02河川改良費

事務事業番号 08030201

事業名		単独事業（河川整備事業）		担当部署	都市建設部 維持課		
根拠法令		河川法、苫小牧市普通河川管理条例					
令和2年度決算額		100,596	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債	61,700	千円				
	その他		千円				
	一般財源	38,896	千円				
事業費（総計）		127,097	千円	総合評価	A		
決算額		100,596	千円				
人件費		26,501	千円				
事業の目的		安全・安心な市民生活を確保するため、河川管理施設の保全や環境整備を実施することにより、老朽化した護岸の改良や水辺に親しめる施設整備を行います。					
事業の内容		<p>1 護岸改良工事 河川等の増水時に隣接する道路などの崩壊につながるため、老朽化した護岸を改良します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>改良前</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>改良後</p> </div> </div> <p>2 環境整備工事 水辺に親しめる施設を整備します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>改良前</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>改良後</p> </div> </div>					
SDGs17の目標							
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度
		護岸改良		河川	4河川	4河川	4河川
		環境整備		河川	3河川	3河川	3河川
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性			●			集中豪雨による河川被害などを防止・軽減し、緑豊かな水辺空間を創出するなど、市民の安全・安心な生活に大きく寄与していることから、「3」としました。	
効率性			●			国や北海道と連携したり、河川等の規模に応じて必要な機能を確保することはもとより、経済的な整備方法を検討して事業展開していることから、「3」としました。	
公平性			●			河川周辺の居住者等の要望を踏まえ、パトロールを実施し、老朽化等への対策の要否や重要度を判断したうえで事業を実施していることから、「3」としました。	
将来性			●			市民の安全・安心な生活に関わるものであり、機能を維持しつづけていく必要があることから、「3」としました。	
総合評価		A		<p>評価項目のとおりおおむね目的に適った事業を展開できています。 今後も引続き、護岸整備や河道しゅんせつなどを行い、河川の流下能力を確保するとともに、水辺に親しめる施設整備を行うことで、より一層の安全・安心で身近な河川となるよう整備を進めてまいります。</p>			
特記事項							





事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 01都市計画総務費

事務事業番号 08040101

事業名		地籍調査事業		担当部署	都市建設部 開発管理課			
根拠法令		国土調査法						
令和2年度決算額		1,499	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	1,499	千円					
事業費（総計）		3,361	千円					
決算額		1,499	千円					
人件費		1,862	千円					
事業の目的		国土調査法に基づき当該地籍調査を効率的に進めるため、街区境界調査を行い、成果を法務局に送付することにより、土地の地籍を明確化します。また、本調査を行うことにより、大規模災害から迅速に復旧・復興を図る上で有効な手段となるほか、課税の適正化及び公共事業や土地取引の円滑化などが図られます。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>   <ol style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に策定した全体計画に基づき、調査予定地区の事前調査として既設街区基準点の点検調査を行いました。</li> <li>地籍調査について、市民周知を図るためにパンフレットを作成しました。</li> </ol>						
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度		
		小糸井町1丁目地区地籍調査（街区境界調査）		既設街区基準点点検	全体計画作成	-		
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性			●			令和3年度から予定している地籍調査区域の近辺にある既設街区基準点を調査し、地籍調査時に本基準点を活用し調査出来ることを確認したため、「3」としました。		
効率性			●			公共基準点が活用出来るため、新たな基準点を設置せずに測量が出来ることや、住民説明会等でパンフレットを配布することで地籍調査への住民理解が高まると考えていることから、「3」としました。		
公平性			●			本事業の公平性を確保しつつ、本市の全対象区域を各地区に分け、それぞれの地区の優先する条件を考慮して全体計画を作成し、計画に基づき事業を進めることから、「3」としました。		
将来性		●				1調査区域に概ね3年程度時間を要することから、全市調査完了までには莫大な費用と期間が必要となりますが、継続的に地籍調査を進めることで効果が大きくなると考えておりますことから、「4」としました。		
総合評価		<b>A</b>		事業の進捗状況についてはおおむね予定通りですが、今後地籍調査を円滑に進めるためには、地権者を含む住民理解が不可欠であることから、パンフレットはもとより、SNSなどを活用し地域住民などへ周知を図っていきたいと考えています。				
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 02公園維持費

事務事業番号 08040201

事業名		オートリゾートセンターハウス・温浴施設等補償金		担当部署	都市建設部 緑地公園課						
根拠法令											
令和2年度決算額		13,861	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>			
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	13,861	千円								
事業費（総計）		13,861	千円								
決算額		13,861	千円								
人件費		0	千円								
事業の目的		新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理施設の休館等に伴う利用料金等の減収分について、補填を行います。									
事業の内容 SDGs17の目標		指定管理者に対して、施設の安定した管理運営を継続させるため、新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理施設の休館等における減収分を補填しました。									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R2年度	R1年度	H30年度			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							指定管理者の減収分を補填することは、指定管理者が安定した施設の管理運営を行ううえで必要であることから、「4」としました。		
効率性		●							指定管理者が安定した施設の維持・管理を行うことで、施設の継続的な運営が可能となることから、「4」としました。		
公平性		●							施設の安定した管理運営を維持していくことは、誰もが安全・安心に施設を利用するために必要であることから、「4」としました。		
将来性		●				本事業を中止すると、施設の継続的な運営に影響が及ぶことから、「4」としました。					
総合評価		<b>A</b>				新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せないなかで、本事業は指定管理者が施設の安定した管理運営に取り組むうえで必要であると考えています。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 02公園維持費

事務事業番号 08040202

事業名		公園施設補償金		担当部署	都市建設部 緑地公園課			
根拠法令								
令和2年度決算額		257	千円	項目評価				総合評価 <b>A</b>
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	257	千円					
事業費（総計）		257	千円					
決算額		257	千円					
人件費		0	千円					
事業の目的		新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理施設の休館等に伴う利用料金等の減収分について、補填を行います。						
事業の内容 SDGs17の目標		<p>緑ヶ丘公園指定管理者に対して、施設の安定した管理運営を継続させるため、新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理施設の休館等における減収分を補填しました。</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度	
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●						指定管理者の減収分を補填することは、指定管理者が安定した施設の管理運営を行ううえで必要であることから、「4」としました。
効率性		●						指定管理者が安定した施設の維持・管理が行うことで、施設の継続的な運営が可能となることから、「4」としました。
公平性		●						施設の安定した管理運営を維持していくことは、誰もが安全・安心に施設を利用するために必要であることから、「4」としました。
将来性		●				本事業を中止すると、施設の継続的な運営に影響が及ぶことから、「4」としました。		
総合評価		<b>A</b>				新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せないなかで、本事業は指定管理者が施設の安定した管理運営に取り組むうえで必要であると考えています。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040301

事業名		社会資本整備総合交付金事業（公園整備事業）		担当部署	都市建設部 緑地公園課							
根拠法令		都市公園法										
令和2年度決算額		367,047	千円	項目評価								
財源内訳	国道支出金	165,000	千円									
	地方債	171,200	千円									
	その他		千円									
	一般財源	30,847	千円									
事業費（総計）		385,635	千円	総合評価	A							
決算額		367,047	千円									
人件費		18,588	千円									
事業の目的		潤いと安らぎに満ちた美しい都市空間を創出し、誰もが安全・安心に利用できる公園の整備を進めます。										
事業の内容		社会資本整備総合交付金を活用し、老朽化した施設の更新や園路整備、トイレのバリアフリー化を行いました。										
SDGs17の目標		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> </div>										
		【改修前】		【改修後】								
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R2年度	R1年度	H30年度				
		公園再整備数			か所	8	4	12				
項目評価		高 → 低				評価の理由						
		4	3	2	1							
		有効性	●							公園の再整備を進めることで、誰もが安全・安心に利用できる公園環境が確保されるため、「4」としました。		
		効率性		●						公園の再整備には多額の費用を要するが、計画的に実施することでライフサイクルコストの縮減が図られるため、「3」としました。		
		公平性	●							市内一円の老朽化が進行している公園から順次、再整備を進めており、地域を限定せずに安全・安心に利用できる公園環境を確保しているため、「4」としました。		
将来性		●			市内の公園は開設から30年以上経過しているものが多く、遊具をはじめとする施設の老朽化が進行していることから、継続した事業実施により、効果が高まるため、「3」としました。							
総合評価		A				項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業を展開できていますが、より効率的な事業とするため、今後の人口減少を踏まえた公園の再編や統廃合を考慮しながら実施していきたいと考えています。						
特記事項												

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040302

事業名		単独事業（公園整備事業）		担当部署	都市建設部 緑地公園課		
根拠法令		都市公園法					
令和2年度決算額		50,686	千円	項目評価		総合評価 <b>A</b>	
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債	18,800	千円				
	その他	3,400	千円				
	一般財源	28,486	千円				
事業費（総計）		57,687	千円				
決算額		50,686	千円				
人件費		7,001	千円				
事業の目的		公園施設の更新・補修を計画的に行い、誰もが安全・安心に利用できる公園の維持管理を行います。					
事業の内容		公園施設の計画的な更新・補修を行いました。					
SDGs17の目標		<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>					
1 遊具更新							
2 遊具補修（部材の補修）							
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	
		遊具更新基数	基	4	13	5	
		遊具補修工事	公園	30	62	84	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●					公園施設の計画的な更新・補修を行うことは、誰もが安全・安心に公園を利用するために必要な事業であるため、「4」としました。
効率性			●				事業費の縮減や平準化を図るため、点検結果に基づき、計画的に更新・補修を行っていることから、「3」としました。
公平性		●					施設の更新・補修については、地域の意見を参考にしているため、「4」としました。
将来性			●				本事業については、誰もが安全・安心に公園を利用するために継続して実施していく必要があることから、「3」としました。
総合評価		<b>A</b>		項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業を展開できていますが、今後、老朽化が進む公園施設の増加が見込まれるため、耐用年数の高い製品の使用など、事業費抑制に取り組んでいきたいと考えています。			
特記事項							



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040303

事業名		空港周辺環境対策事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課						
根拠法令		都市公園法									
令和2年度決算額		614	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他	491	千円								
	一般財源	123	千円								
事業費（総計）		2,024	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>				総合評価		A	
総合評価											
A											
決算額		614	千円								
人件費		1,410	千円								
事業の目的		誰もが安全・安心に利用できる公園の維持管理を行うため、管理に必要な資器材などを購入します。									
事業の内容		空港周辺環境対策事業の助成金を活用し、公園の維持管理に必要な資器材を購入しました。									
SDGs17の目標											
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度				
		資器材購入（草刈り機、除雪機等）		台	4	-	1				
項目評価		高 → 低		評価の理由							
		4	3	2	1						
有効性		●				草刈等の維持管理に必要な資器材を購入することは、適正な公園の維持管理を行うために必要があることから、「4」としました。					
効率性			●			計画的に必要な資器材を購入していることから、「3」としました。					
公平性			●			本事業については、対象地域が限定されていることから、「3」としました。					
将来性			●			本事業については、適正な公園の維持管理を行うために、継続して実施していく必要があることから、「3」としました。					
総合評価		A		項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業を展開できていますが、適正な公園の維持管理を継続していくため、計画的な資器材購入の検討をしていきたいと考えています。							
特記事項											



【芝刈り機2台、草刈り機2台】

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040304

事業名		再編関連訓練移転等交付金事業（公園整備事業）		担当部署	都市建設部 緑地公園課			
根拠法令		都市公園法						
令和2年度決算額		18,233	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金	17,700	千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	533	千円					
事業費（総計）		20,349	千円					
決算額		18,233	千円					
人件費		2,116	千円	総合評価				
					<b>A</b>			
事業の目的		潤いと安らぎに満ちた美しい都市空間を創出し、誰もが安全・安心に利用できる公園の整備を進めます。						
事業の内容		再編関連訓練移転等交付金を活用し、老朽化した遊具などを更新しました。						
SDGs17の目標								
		【改修前】		【改修後】				
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度	
		老朽化した遊具などの更新		公園	1	-	-	
		防犯カメラの設置		基	-	-	9	
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●						老朽化した遊具などを更新することで、誰もが安全・安心に利用できる公園環境が確保されるため、「4」としました。
効率性			●					遊具などの更新には多額の費用を要するが、将来にわたって安全・安心に利用できる公園環境が確保されるため、「3」としました。
公平性			●					本事業については、対象地域が限定されていることから、「3」としました。
将来性			●			市内の公園は開設から30年以上経過しているものが多く、遊具をはじめとする施設の老朽化が進行していることから、継続した事業実施により、効果が高まるため、「3」としました。		
総合評価		<b>A</b>		項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業を展開できていますが、より効率的な事業とするため、今後の人口減少を踏まえた公園の再編や統廃合を考慮しながら実施していきたいと考えています。				
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040401

事業名		森林整備事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課						
根拠法令		森林法									
令和2年度決算額	7,144	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	総合評価		A	
総合評価											
A											
財源内訳	国道支出金	3,623	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	3,521	千円								
事業費（総計）	7,849	千円									
決算額	7,144	千円									
人件費	705	千円									
事業の目的	森林の効用であるレクリエーション機能や土砂流出防止など、森林の有する多面的機能を発揮させるため、市有林やその他の民有林の整備と保全を図ります。										
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>1 高丘森林公園整備事業 ハスカップをシカの食害から守るため、侵入防止柵を補修・追加設置しました。</p> <p>2 苫小牧市未来につなぐ森づくり推進事業 森林の有する多面的機能を発揮させるため、森林所有者へ伐採後の造林に対し助成を行いました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【高丘森林公園整備事業】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【苫小牧市未来につなぐ森づくり推進事業】</p> </div> </div>										
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度					
	高丘森林公園整備			柵補修	園路380m	柵140m					
	苫小牧市未来につなぐ森づくり推進事業		ha	16	9	4					
項目評価	高 → 低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							高丘森林公園整備や森林の更新に対する助成の取組は、本市にある森林の有する多面的機能を発揮させることに寄与しているため、「4」としました。		
	効率性		●						森林の利用向上に直接的に繋がるものではないが、本市にある森林の有する多面的機能を発揮させる事業であるため、「3」としました。		
	公平性	●							森林の有する多面的機能は市民が平等に恩恵を受けるものであることから、「4」としました。		
将来性	●				森林は持続可能な資源であり、市民に対して継続して実施していく必要があることから、「4」としました。						
総合評価	A				項目評価のとおりおおむね目的に合った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、高丘森林公園の認知度や利用を高める取組を実施していきたいと考えています。						
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040402

事業名		緑の基本計画事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課				
根拠法令		都市緑地法							
令和2年度決算額		4,661	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他	1,572	千円						
	一般財源	3,089	千円						
事業費（総計）		6,270	千円						
決算額		4,661	千円						
人件費		1,609	千円						
事業の目的		緑の保全と緑化を推進するため、市民との協働による緑化や、木材との触れ合いを通じて木材への親しみや木の文化への理解を深めてもらう「木育」を推進します。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>町内会等緑化推進事業・緑化推進基金活用事業 町内会や緑化活動団体に対して、緑化資材の提供や助成を行いました。</li> <li>木材リサイクル製品製作事業 木材を活用したコースターや幼児用の机と椅子を作製し、保育園や図書館に配布しました。</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【緑化推進基金活用事業】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【木材リサイクル製品製作事業】</p> </div> </div>							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R2年度	R1年度	H30年度	
		町内会等緑化推進事業、緑化推進基金活用事業			団体	15	23	25	
		市民植樹祭準備業務（植樹本数）			本	中止	405	1,655	
		木材リサイクル製品製作事業				コースター、机・椅子	木球、コマ	-	
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				花や緑を通じて地域の人との繋がりと本市の環境美化に貢献する取組であり、また、持続可能な樹木の活用を伝える有効的な事業であるため、「4」としました。			
効率性			●			資材や木製品は多くの費用を要するが、市民参加の活動であり、また木材は持続可能な資源であることから、「3」としました。			
公平性			●			花や緑で公園や街路を飾ることは、本市の景観美化に貢献する取組であるが、木製品については一部の子供たちへの配布であったことから、「3」としました。			
将来性		●				市民との協働による緑化活動は継続的な取組であり、「木育」についても森林の多面的機能発揮に必要な取組であることから、「4」としました。			
総合評価		<b>A</b>		項目評価のとおりおおむね目的に適った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、市民のニーズを把握することに努めていきたいと考えています。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040403

事業名		市有林整備事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課						
根拠法令		森林法									
令和2年度決算額		612	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金	288	千円								
	地方債		千円								
	その他	324	千円								
	一般財源		千円								
事業費（総計）		2,022	千円	総合評価	A						
決算額		612	千円								
人件費		1,410	千円								
事業の目的		森林の有する多面的機能を持続的に発揮していくため、市有林の森林経営計画を策定し森林整備を継続的にを行います。									
事業の内容		SDGs17の目標 美沢市有林下刈業務 平成30年度に造林した市有林の下刈りを行いました。									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R2年度	R1年度	H30年度			
		保育(下刈り)			ha	3	29	54			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							市有林を整備する取組は、本市にある森林の有する多面的機能を発揮させることに寄与しているため、「4」としました。		
効率性			●						市有林の森林経営計画に基づき行われる事業であるが、新技術の導入など効率性をあげる検討が必要なことから、「3」としました。		
公平性		●							森林の有する多面的機能は、市民が平等に恩恵を受けるものであることから、「4」としました。		
将来性		●				森林は持続可能な資源であり、継続して実施していく必要があることから、「4」としました。					
総合評価		A				項目評価のとおりおおむね目的に適った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、効率的な作業を検討していきたいと考えています。					
特記事項											



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040404

事業名		地域おこし協力隊事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課						
根拠法令		森林法									
令和2年度決算額	4,397	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A		
総合評価											
A											
財源内訳	国道支出金	千円									
	地方債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	4,397	千円								
事業費（総計）	4,750	千円									
決算額	4,397	千円									
人件費	353	千円									
事業の目的	地域おこし協力隊制度は、人口減少や高齢化等が進んでいる地方部において地域力の維持または強化を図るため、一定期間、都市部の人が地域に移住して地域協力活動を行いながら、定住・定着を図ります。										
事業の内容	1 地域おこし協力隊報償費 協力隊員に報償費を支給しました。 2 地域おこし協力隊支援業務 協力隊員の集合研修やスキルアップに関する支援を行いました。										
SDGs17の目標											
【協力隊員の活動】	<p>【馬搬による森林整備】</p>  <p>【環境教育活動】</p>  <p>【研修会】</p> 										
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度					
	地域おこし協力隊への支援			継続	継続	採用					
項目評価	高 → 低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							地域協力活動を行ないながら、地域への定住・定着という目的を果しているため、「4」としました。		
	効率性	●							多くの人と連携し各種事業に取り組んでいるため、「4」としました。		
	公平性		●						活動の場が森林という限定的ではあるが、誰もが活動に参加することができることから、「3」としました。		
将来性	●				森林のみならず様々な分野での活用ができる取組であることから、「4」としました。						
総合評価	A				項目評価のとおりおおむね目的に適った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、個人の起業や事業に対しサポートしていきたいと考えています。						
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040405

事業名		緑化推進基金積立金		担当部署	都市建設部 緑地公園課										
根拠法令		苫小牧市緑化推進基金条例													
令和2年度決算額		0 千円		項目評価											
財源内訳	国道支出金	千円													
	地方債	千円													
	その他	千円													
	一般財源	千円													
事業費（総計）		353 千円		<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>総合評価</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>353 千円</td> </tr> </table>				総合評価	A	決算額	千円	人件費	353 千円		
総合評価	A														
決算額		千円													
人件費		353 千円													
決算額		千円													
人件費		353 千円													
事業の目的		本市の緑化を推進する事業等に必要な経費の財源に充てるため、寄附金や市有林の立木売払い収入を積み立てます。													
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>15 陸の豊かさを保ち増やす</p> </div> </div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">令和元年度末基金残高</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">80,278,119円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度基金積立金</td> <td style="text-align: right;">0円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度基金取崩し額</td> <td style="text-align: right;">1,889,013円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度末基金残高</td> <td style="text-align: right;">78,384,106円</td> </tr> </table>						令和元年度末基金残高	80,278,119円	令和2年度基金積立金	0円	令和2年度基金取崩し額	1,889,013円	令和2年度末基金残高	78,384,106円
令和元年度末基金残高	80,278,119円														
令和2年度基金積立金	0円														
令和2年度基金取崩し額	1,889,013円														
令和2年度末基金残高	78,384,106円														
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度									
		基金の年度末残高	千円	78,384	80,273	88,878									
項目評価		高 → 低	評価の理由												
		4   3   2   1													
有効性		●	温室効果ガスの吸収源になる等の多面的機能を有する森林の整備や花植え等の環境美化活動の財源に充てており、安全・安心で、美しいまちづくりに寄与していることから、「4」としました。												
効率性		●	寄附金などを効率的に将来の事業に充てることのできるため、「4」としました。												
公平性		●	温室効果ガスの吸収源になる等の多面的機能を有する森林の整備やまちの環境美化の財源に充てている事業であり、全市民に恩恵のある事業であることから、「4」としました。												
将来性		●	寄附金により成り立っている基金であり、安定的な積立金が見込めないことから、「2」としました。												
総合評価		A		項目評価のとおりおおむね目的に合った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、基金の活用については十分に検討していきたいと考えています。											
特記事項															

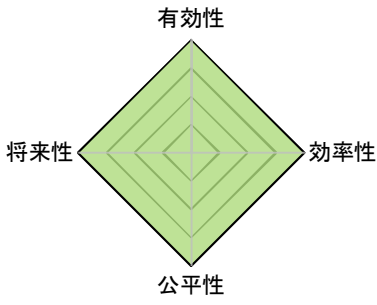

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040406

事業名		森林環境譲与税基金積立金		担当部署	都市建設部 緑地公園課					
根拠法令		森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律、苫小牧市森林環境譲与税基金条例								
令和2年度決算額		33,311	千円	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="margin-right: 20px;">項目評価</div>  <div style="margin-left: 20px;">総合評価</div> </div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold; margin-top: 10px;">A</div>						
財源内訳	国道支出金		千円							
	地方債		千円							
	その他	1	千円							
	一般財源	33,310	千円							
事業費（総計）		33,664	千円							
決算額		33,311	千円							
人件費		353	千円							
事業の目的		森林の整備に関する施策や、森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する多面的機能に関する普及啓発など、森林の整備の促進に関する施策の費用に充てることを目的に、譲与される森林環境譲与税を基金に積み立てます。								
事業の内容		SDGs17の目標  令和元年度末基金残高 16,655,000円 令和2年度基金積立金 32,331,314円 令和2年度基金取崩し額 100,000円 令和2年度末基金残高 48,886,314円								
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R2年度	R1年度	H30年度		
		基金の年度末残高			千円	48,886	15,675	-		
項目評価		高 → 低				評価の理由				
		4	3	2	1					
		有効性	●							温室効果ガスの吸収源になる等の多面的機能を有する森林の整備の推進に活用する基金であることから、「4」としました。
		効率性	●							譲与金を計画的に将来の事業に充てることのできるため、「4」としました。
		公平性	●							災害に強い森林への整備に充てていく基金であり、全市民に恩恵のある事業であることから、「4」としました。
将来性	●				森林の整備に充てるための基金であり、今後、持続的に森林の恩恵を受けることのできることから、「4」としました。					
総合評価		A				項目評価のとおりおおむね目的に適った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、基金の活用については計画的に実施していきたいと考えています。				
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費 項 05市営住宅費 目 02住宅建設費 事務事業番号 08050201

事業名		住宅建設事業【継続事業】		担当部署	都市建設部 住宅課		
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法					
令和2年度決算額		1,364,436	千円	項目評価	<p>有効性 将来性 効率性 公平性</p>		
財源内訳	国道支出金	626,285	千円				
	地方債	672,100	千円				
	その他	17,460	千円				
	一般財源	48,591	千円				
事業費（総計）		1,376,781	千円				
決算額		1,364,436	千円				
人件費		12,345	千円				
事業の目的		市営住宅の老朽化に伴い、適正な建替え等による住環境の整備が急務となっているなかで、少子高齢化の進行や人口減少など社会情勢の変化に配慮しながら、良質で快適な生活を営める住環境整備を行います。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>1 新築住宅の建設等                      (1) 日新団地の5棟目（日新町4-11-12, 新10号棟5F60戸）が完成し、供用開始するとともに、6棟目（新9号棟5F60戸）の建設に着手しました。</p> <p>2 新築及び解体実施設計                      (1) 令和3年度に着工予定の日新団地新8号棟（5F30戸）の新築実施設計を行いました。                      (2) 令和3年度に解体予定の日新町4-11-5, 6, 7（計100戸）の解体実施設計を行いました。</p> <p>3 建替えに伴う入居者の移転                      (1) 仮移転先の住戸修繕及び移転対象世帯への移転補償を行いました。</p>					
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	
		建設住宅	戸	60	0	60	
		解体住宅	戸	0	100	80	
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				建替事業の実施は、老朽化住宅の解消と管理戸数の適正化が同時に実現するなど即効性が高く効果的であるため、「4」としました。	
効率性			●			国庫補助や地方債の対象となる事業についてはそれら財源を活用し、対象外事業も必要性を鑑みて実施しているため、「3」としました。	
公平性			●			安全性の確保及び老朽化した住宅の解消を基本方針として建替対象の住宅を設定し、今後の整備計画を公表しているため、「3」としました。	
将来性		●				将来人口や世帯数推計に基づいた適正管理戸数に向け、建替え等による団地再編を実施しており、事業を中止・縮小するとこれまでの事業実施が無駄になるため、「4」としました。	
総合評価		A		建替事業は計画通りに進捗しており、老朽化住宅の解消が図られ、国費の効果的活用も図っています。今後の社会情勢の変化を見据えた適正な管理戸数に向け、各事業を着実に実施していきたいと考えております。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050202

事業名		除却事業		担当部署	都市建設部 住宅課				
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法							
令和2年度決算額		15,801	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金	4,651	千円						
	地方債	8,400	千円						
	その他		千円						
	一般財源	2,750	千円						
事業費（総計）		18,421	千円	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>				総合評価	A
総合評価									
A									
決算額		15,801	千円						
人件費		2,620	千円						
事業の目的		市営住宅の老朽化等により空家となった住宅について、安全面や今後の用地活用の観点から計画的な用途廃止・除却を行います。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>旭町市営住宅(2-1-1)除却に向けた解体実施設計を行いました。</li> <li>旭町市営住宅(2-3-4)除却に向けた事業                     <ol style="list-style-type: none"> <li>解体実施設計を行いました。</li> <li>熱供給受入れ管の撤去工事等を行いました。</li> <li>今後の敷地管理のため分筆測量業務を行いました。</li> </ol> </li> </ol>							
実施結果（活動指標）									
		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度			
		除却住宅	戸	0	0	16			
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性			●			除却事業の実施は、市営住宅の選択肢が減少する一方で老朽化住宅の解消と管理戸数の適正化が図られるなど一定の効果があるため、「3」としました。			
効率性			●			国庫補助や地方債の対象となる事業についてはそれら財源を活用し、対象外事業も必要性を考慮して実施しているため、「3」としました。			
公平性			●			安全性の確保及び老朽化した住宅の解消を基本方針として除却対象の住宅を設定し、今後の整備計画を公表しているため、「3」としました。			
将来性			●			将来人口や世帯数推計に基づいた適正な管理戸数に向け、除却等による団地再編を継続的に実施しているため、「3」としました。			
総合評価		A		除却事業はおおむね計画通りに進捗しており、老朽化住宅の解消が図られ、国費の効果的活用も図っています。その一方で、地域や入居者等の変化する状況と事業計画を適宜整合を図りながら円滑に事業を進める必要があると考えております。					
特記事項									



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050203

事業名		住宅改善事業		担当部署	都市建設部 住宅課		
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法					
令和2年度決算額		433,831	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金	164,206	千円				
	地方債	163,900	千円				
	その他	105,725	千円				
	一般財源		千円				
事業費（総計）		447,282	千円				
決算額		433,831	千円				
人件費		13,451	千円	総合評価			
事業の目的		市営住宅の多くで老朽化が進むなか、今後も長期間維持管理していく住宅については、入居者が安心かつ安全に暮らせるよう、計画的な改善・改修工事を行い建物の長寿命化を図ってまいります。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <p>1 長寿命化に関する改善・改修工事及び設計業務                      (1) 大成町市営住宅(1-9-1)東面外部等改修工事を行いました。(208戸)                      (2) 住吉町市営住宅(1-3-5)外部等改修工事を行いました。(30戸)                      (3) 青葉町市営住宅(1-4-5)外壁改修工事を行いました。(30戸)                      (4) 住吉町市営住宅(2-3-2)昇降機設備改修工事を行いました。(40戸)                      (5) 大成町市営住宅(1-1-1)外部等改修実施設計業務を行いました。(156戸)</p> <p>2 日新町市営住宅(3-2-2)ほか14棟の耐用年数を迎える住宅用火災警報器取替業務を行いました。(425戸)</p> <p>3 旭町地区ほか市営住宅電波障害防除設備移設工事を行いました。</p>					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	
		改善・改修住宅	戸	889	1,275	2,346	
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				今後も維持管理する住宅については、長寿命化計画に基づく改善事業を実施することにより、建物のライフサイクルコスト縮減に効果があるため、「4」としました。	
効率性			●			国庫補助や地方債の対象となる事業についてはそれら財源を活用し、対象外事業も必要性を考慮して実施しているため、「3」としました。	
公平性			●			建物の長寿命化や安全性確保等に寄与する事業手法を選定し、苫小牧市営住宅等長寿命化計画として公表しているため、「3」としました。	
将来性			●			今後も維持管理が必要な市営住宅について、本事業を継続的に実施することで効果が高まるため、「3」としました。	
総合評価		A		市営住宅の老朽化が進む一方で、今後も多くの住宅を健全な状態で維持管理していく必要があることから、計画に基づく各事業を着実に実施していきたいと考えております。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050204

事業名		熱供給設備等改修事業		担当部署	都市建設部 住宅課				
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法							
令和2年度決算額		8,890	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他	8,890	千円						
	一般財源		千円						
事業費（総計）		14,867	千円						
決算額		8,890	千円						
人件費		5,977	千円						
事業の目的		地域暖房・給湯を採用している市営住宅は、建設からの経過年数によって建物同様、熱供給設備の老朽化も進んでいます。入居者が安心かつ安全に暮らせるよう、修繕工事を行いライフラインの維持に努めてまいります。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>山手町ボイラープラント設備修繕工事を行いました。                      （供給先） 山手町市営住宅(2-9-1) 225戸                      山手町市営住宅(2-9-4) 40戸</li> <li>大成町熱供給施設電動弁取替工事を行いました。                      （供給先） 大成町市営住宅(1-14-2) 182戸                      大成町市営住宅(1-1-1) 156戸                      弥生町市営住宅(2-9-4) 30戸</li> </ol>							
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度		
		修繕対象		戸	633	265	1,891		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性			●			設備の老朽度合や不具合の状況を判断しながら実施しており、各住戸へ安定した暖房・給湯を行う効果があるため、「3」としました。			
効率性			●			地域暖房・給湯を採用している市営住宅について、適切な修繕工事により将来にわたって効果が得られるため、「3」としました。			
公平性			●			市営住宅の今後の整備方針や事業手法などの見通しについては、計画を策定し公表しているため、「3」としました。			
将来性			●			今後も維持管理が必要な市営住宅について、本事業を継続的に実施することで効果が高まるため、「3」としました。			
総合評価		A		項目評価のとおり目的に適った事業を実施しており、引き続きライフライン維持のため必要となる修繕を実施していきたいと考えております。					
特記事項									


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050205

事業名		給水設備等改修事業		担当部署	都市建設部 住宅課						
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法									
令和2年度決算額		8,481	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他	8,481	千円								
	一般財源		千円								
事業費（総計）		13,048	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;"><b>A</b></td> </tr> </table>				総合評価		<b>A</b>	
総合評価											
<b>A</b>											
決算額		8,481	千円								
人件費		4,567	千円								
事業の目的		市営住宅の老朽化に伴う給水設備の不具合等を解消し、入居者が安心かつ安全に暮らせるよう、改修工事を行いライフラインの維持に努めてまいります。									
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>大成町市営住宅(1-8-1)南側給水設備取替工事を行いました。160戸 ⇒既設給水管の老朽化による取替</li> <li>弥生町市営住宅(2-19-3)直圧ブースターポンプ取替工事を行いました。20戸 ⇒直圧ブースターポンプの給水不具合による取替</li> </ol>									
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度				
		改修対象		戸	180	0	597				
項目評価		高 → 低		評価の理由							
		4	3	2	1						
有効性			●			設備の老朽度合や不具合の状況を判断しながら実施しており、各住戸へ安定した給水を行う効果があるため、「3」としました。					
効率性			●			老朽化等による不具合が生じている市営住宅について、適切な改修工事により将来にわたって効果が得られるため、「3」としました。					
公平性			●			市営住宅の今後の整備方針や事業手法などの見通しについては、計画を策定し公表しているため、「3」としました。					
将来性			●			今後も維持管理が必要な市営住宅について、本事業を継続的に実施することで効果が高まるため、「3」としました。					
総合評価		<b>A</b>		項目評価のとおりおおむね目的に適った事業を実施しており、引き続きライフライン維持のため必要となる改修を実施していきたいと考えております。							
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050206

事業名		苫小牧市営住宅長寿命化計画策定事業		担当部署	都市建設部 住宅課			
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法						
令和2年度決算額		23,980	千円	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> <p>項目評価</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>総合評価</p> <h1 style="margin: 0;">A</h1> </div> </div>				
財源内訳	国道支出金	10,791	千円					
	地方債		千円					
	その他	13,189	千円					
	一般財源		千円					
事業費（総計）		26,801	千円					
決算額		23,980	千円					
人件費		2,821	千円					
事業の目的		<p>国庫補助を活用した公営住宅等の建替えや改善改修、用途廃止などを実施するためには、事業主体毎に本計画の策定が必須となります。平成23年3月に策定された「苫小牧市営住宅長寿命化計画」の維持管理計画を見直した上で、国の策定指針に従い次期計画を策定します。</p>						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 苫小牧市営住宅等長寿命化計画を策定しました。                  (1) 計画期間 … 令和3年度から令和12年度までの10年間                  (2) 対象施設 … 市営住宅270棟7,069戸、共同施設14施設                  (3) 事業計画 … 団地毎で改善事業／建替え／除却／新規整備などの年次計画を設定</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度	
		対象住宅		棟	270	-	-	
		対象施設		棟	14	-	-	
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●						計画に基づく事業を実施することにより、管理戸数の適正化や建物のライフサイクルコスト縮減に効果があるため、「4」としました。
効率性		●						策定に際しては国庫補助を活用しており、将来にわたって市営住宅の整備に効果が得られるため、「4」としました。
公平性			●					各事業の実施は、市営住宅全体の整備・維持におおむね公平に分配されることとなり、計画として公表しているため、「3」としました。
将来性			●			各事業を継続的に実施することで効果が高まるため、「3」としました。		
総合評価		A				<p>計画に基づく各事業を着実に実施することにより、管理戸数の適正化と建物の長寿命化が図られると考えております。</p>		
特記事項								